

令和5年度 三朝町人権教育講座

【講座1】 実施日時:令和5年7月13日(木) 町総合文化ホール 大会議室

テーマ: 同和問題

演題: 『近代から現代にかけての部落改善の歩み』

講師: 鳥取県部落史研究会 副会長 西村 芳将

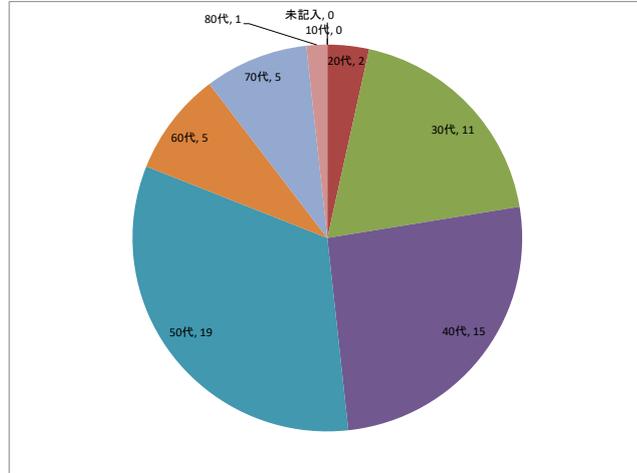
(出席者) 63名

(アンケート回収) 58名

《アンケート集計》

Q1. あなたの年齢は？

10代	0	(0.0%)
20代	2	(3.4%)
30代	11	(19.0%)
40代	15	(25.9%)
50代	19	(32.8%)
60代	5	(8.6%)
70代	5	(8.6%)
80代	1	(1.7%)
未記入	0	(0.0%)
計	58	



Q2 きょうの講座についてお聞きます。

ー1 講座の内容はどうでしたか？

① 理解できた。	14	(24.6%)
② ほぼ理解できた。	34	(59.6%)
③ あまり理解できなかった。	8	(14.0%)
④ 理解できなかった。	1	(1.8%)

計 57

ー2 新しい「気づき」がありましたか？

① あった	24	(41.4%)
② 少しあった	23	(39.7%)
③ あまりなかった	11	(19.0%)
④ 全くなかった	0	(0.0%)

計 58

ー3 もう少し詳しく知りたいと思うことがありましたか？

① あった	9	(15.8%)
② 少しあった	31	(54.4%)
③ あまりなかった	17	(29.8%)
④ 全くなかった	0	(0.0%)

計 57

ー4 これまでのご自身の生活を振り返り、活かせそうなことがありましたか？

① あった	10	(17.5%)
② 少しあった	27	(47.4%)
③ あまりなかった	19	(33.3%)
④ 全くなかった	1	(1.8%)

計 57

－5 講座の開始時間は何時が参加しやすいですか？

① 18時30分	20 (34.5%)
② 19時	38 (65.5%)
③ 19時30分	0 (0.0%)
④ その他	0 (0.0%)

計 58

－6 実施時間は何分くらいが適当だと思いますか？

① 60分	28 (49.1%)
② 90分	27 (47.4%)
③ 120分	2 (3.5%)

計 57

Q3 今後講座で開催してほしい人権課題がありますか？(複数可)

① 同和問題	10	⑨ 犯罪被害者等の人権	10
② 男女共同参画に関する人権	9	⑩ 性的マイノリティの人権	17
③ 障害のある人の人権	9	⑪ 生活困窮者の人権問題	11
④ 子どもの人権	13	⑫ インターネットにおける人権問題	22
⑤ 高齢者の人権	10	⑬ ユニバーサルデザインの推進	9
⑥ 外国人の人権	10	⑭ 様々な人権 (拉致、災害、プライバシー、 アイヌ民族、ハラスメントひきこもりetc)	19
⑦ 病気にかかわる人の人権	8		
⑧ 刑を終えて出所した人の人権	14		

計 171

※ ⑭の意見で、統一教会などの宗教問題という意見あり

《自由記載の意見》

- 同和問題の歴史について知ることができた。(30代)
- 鳥取県は、大正時代から知事がリードして同和対策に取り組んできたことがわかった。鳥取県が、人権の取組について先進的な理由がわかったように思う。やはり続けていくことが大切だと思った。(50代)
- 何十年も前、子供のPTAで参加した部落問題とあまり変わってなくて、もう少し前に進まなくてはと思った。(60代)
- 部落の当事者の運動、行政の政策、人々の意識、それぞれに触れながら、客観的に歴史を振り返る、大変勉強になる内容だった。今回漏れてしまった、江戸、昭和の話ももう少し先生から聞いてみたい。(20代)
- 部落問題が今ではあまり表に出なくなり、町民の意識調査のように、他人事の意見が多くなっている背景がわかった気がする。差別はなくなっていないので、引き続き、学習の機会をお願いします。原点に戻ることは大切である。(40代)
- とても分かりやすい話だった。部落問題に関する取組など、一気に知識が増えた気になった。これまでの限られた見方が広がったと感じた。(60代)
- アンケートの結果を見る限り、もっともっと人権教育を実施することが必要と思う。(70代)
- 内容が少し専門的であった(歴史的視点の話)。部落問題に関する具体的な内容がもう少し多い方がよい。
- 被差別部落の出来た事由？を知ることが解消に。(70代)
- 鳥取県庁で勤務された岩切重雄さんの記事が印象に残った。「被差別集落の環境改善はもとより、そもそも差別する側の意識も改善しなければ前には進まない」という考え方は、今後も、同和問題をはじめ、様々な差別や人権問題を考える上で大切なことだと感じた。短時間の講演だったが、大変有意義なものとなった。(40代)
- 歩みや成り立ちも大切なことだと思うが、身近にどのような差別をする人がいるのか…、周りに部落差別があることがないのでよくわからなかった。
今でもまだあるのかと思うと、憤りを感じる。ごく一部の人が差別をしているのだろうか？具体的に例をあげてもらえると、もう少し理解ができたのかなと思う。県もいろいろな取組をされていることはよく分かった。差別はなくなってほしいと願う。(50代)
- 部落差別がなくなることを願っている。(40代)
- 短時間だったが、タイトルのおおりに、歩みをわかりやすく話していただき、

よく理解できた。町アンケートコメントに、正しく知るべきという意見が少ないことにとっても驚いた。(40代)

- 近代の同和問題の解消は、ハード面での格差解消を持って成果にしてきたのではないかと感じた。ソフト面の成果がついてきていないのかもしれない。その結果として、部落差別が見えにくくなり、今の状況が難しくなっていると感じた。人間の意識を変えていくことの難しさをあらためて考えさせられた。(30代)
- 長い部落史を1時間半でやるのは無理がある。現在の部落差別に特化して講演をする方がよかったと思う。また、「気づき」を重視するのなら、参加型(ワークショップ等)がよいと思う。(40代)
- 話が少し難しかった。分かりにくい。同和問題の講座はいつまでやるのか……。この時代に同和問題の話をするのは、逆に差別をしているかのようだ。(40代)
- その時代の歩みを話されたが、話のポイントが分からず、何を伝えたいのかが分かりにくかった。とにかく話しが長い。
今回の開催で土日が多かったが、できれば土日は避けてほしい。休みの夜は出にくい。(50代)
- 難しかった。資料の漢字・言葉も分からない。毎年、「刑を終えて出所した人の人権」に○をしているけど、一回も開催されたことがない。(40代)
- 本日の人権は、内容が難しかったように思う。だけど、部落ということへの理解が私にはまだできていないのだということを知ることができた。人権は思ったより奥が深く、勉強が必要だと思う。(30代)
- 知らない同和問題の情報を知ることができて、とてもよかった。昔のことはなかなか知る機会がないので、とても興味深く学んだ。(40代)
- 出身中学区に同和部落があったので、それなりに勉強してきた。懐かしく思い出した。なかなか難しい問題である。(50代)
- 歴史を知ることができた。(50代)
- 鳥取県内での部落差別解消に向けた動き・流れが分かった。新聞記事などで実際にあった事実を追っていくことで、不当に低位な扱いを受けていた人々をどうにかしなくてはいけない(改善)のではないかと、としようとした方々がおられたことが分かった。(50代)